

出題の趣旨一覧 <平成30年度長崎県学力調査(小学校国語)>

大問	小問	設問の概要	出題の趣旨	状況			領域	関連する指導事項	
				県	学校	差		学年	
1	一	相手を見て話すことの目的について適切なものを選択する	聞き手の反応を見て話す	80.7	80.9	0.2	話すこと・聞くこと	3・4年	ウ 相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話すこと
	二	友達の助言をもとに、将棋クラブの紹介の仕方として、適切な順番を選択する	相手や目的に応じて、話の構成を工夫する	59.6	60.1	0.5			イ 相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、適切な言葉遣いで話すこと
	三	用意した画像を活用する話題として適切なものを選択する	相手や目的に応じ、画像を活用し適切に話す	67.2	64.6	-2.6			イ 相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、適切な言葉遣いで話すこと
	四	ローマ字を書く	ローマ字で正しく書く	39.3	31.1	-8.2	伝国		ウ(ア) 簡単な単語のローマ字表記をすること
	五	漢字辞典を活用する順に選択肢を並べる	漢字の筆順を調べる場面を通して、漢字辞典を使う	25.2	25.3	0.1			イ(カ) 辞書を利用して調べる方法を理解し、調べる習慣を付けること
2	一 (1) ア	文の中から主語を選ぶ	文の中における主語を選択する	42.5	38.2	-4.3	伝国	1・2年	イ(カ) 文の中における主語と述語との関係に注意すること
	一 (1) イ			61.1	56.8	-4.3			
	一 (2)	物語の登場人物の状況について書く	読み取った内容を、目的に応じ、相手に伝わるように、自分の言葉で要約して書く	35.6	35.3	-0.3	読むこと	3・4年	エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること
	二	慣用句を正しく使っている文を選ぶ	慣用句の意味がわかり正しく使う	63.1	61.6	-1.5	伝国		ア(イ) 長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと
	三 (1) 三 (2)	物語の登場人物の状況の変化について書く	登場人物の状況の変化の根拠となる叙述を書く	53.3 16.7	51.2 15.9	-2.1 -0.8	読むこと		ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと
3	一	一つの文を意味を変えずに、二つの文に書き直す	一文の意味を理解し、二つの文に分けて書き直す	64.4	64.7	0.3	書くこと	3・4年	オ 文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること
	二	誤って常体で書かれた表現を敬体で書き直す	文章の間違いに気付き、正しく書き直す	69.3	66.1	-3.2			エ 文章の敬体と常体との違いに注意しながら書くこと
	三	ポスターに載せる写真として適切なものを選ぶ	事実や事例など、必要な事柄を整理する	87.4	87.0	-0.4			ウ 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと
	四	ポスターの記事を書く	目的に応じて事例を挙げながら事実を伝える文章を書く	36.5	36.9	0.4			ウ 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと
	五	ポスターの内容にふさわしい大見出しをつける	文章全体を通して中心となる内容を明確に記述する	73.0	70.4	-2.6			ウ 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと
	六 (1) ア	漢字を書く ア あんぜん	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む、書く	78.9	75.6	-3.3	伝国	3・4年	ウ(イ) 学年別配当漢字の読み、書き
	六 (1) イ	漢字を書く イ えいよう		57.7	54.5	-3.2			
	六 (1) オ	漢字を書く オ にかて		60.5	55.1	-5.4			
	六 (2) ウ	漢字を読む ウ 食器		77.2	74.7	-2.5			
	六 (2) エ	漢字を読む エ 約束		80.0	78.0	-2.0			